

みんなで回すための教学マネジメント 7つのポイント

まとめ

本特集のまとめとして、学生の教育投資に見合う教育機関であり続けるための教学マネジメントのポイントをまとめた。教学マネジメントは法律上義務化されていないものだからこそ、教育改善の歯車がちゃんと回る設計で行わないと、取り組む意味がない。参考にされたい。



回らないマネジメント

回るマネジメント

目的	認証評価対応、補助金獲得だけ	学修者本位の教育への転換
組織体制	トップ・ミドル・ボトムがバラバラに動く	トップ・ミドル・ボトムの三層がかみ合った教職協働組織
「指針」の扱い	「必要」とされている項目の消化	「指針」の背景や全体像を咀嚼し、自学に合った方法で取り入れる
進め方	とりあえずⅢの学修成果の可視化から	Iの学修目標の設定から取り組む
教育改善	各科目、教員単位任せで終わり	学位プログラム単位、全学レベルでの検証と改善も行う
FD・SD	実施すること自体が目的化	DP達成のための明確な課題解決を目的に実施、個別最適な学び方
情報公表	法律上の義務対応	教育投資に見合う大学である証として、高校や高校生、社会に対して積極的に発信